

目 次

I 総論	1
第1章 計画の策定に当たって	2
1 計画策定の趣旨	2
2 計画の位置付け	2
3 計画の期間	3
4 計画の対象範囲	4
第2章 子ども・若者を取り巻く現状と課題	5
第1節 現状	5
1 子ども・若者の人口の推移	5
2 世帯の変化	6
3 情報通信環境の変化	7
4 雇用環境の変化	8
5 子ども・若者の行動や意識の変化	10
(1) 規範意識	10
(2) 家庭生活	11
(3) 生活全般	12
(4) 就労意識	13
(5) 自己肯定感	14
6 困難を有する子ども・若者	17
(1) ニート・ひきこもりの状況	17
(2) いじめ、不登校、中途退学者の状況	18
(3) 障害のある子ども・若者の状況	19
(4) 少年非行の状況	21
(5) 児童虐待の状況	21
(6) 子どもの貧困	22
(7) 特別な配慮が必要な子ども・若者の状況	23
第2節 現状からの課題考察及び現行計画策定後の環境の変化等	25
1 現状からの課題考察	25
2 現行計画策定後の環境の変化等	26
第3節 今後の考えるべき方向性	27
第3章 計画の基本的な考え方	28
1 基本目標	28
2 施策の基本的視点	30
3 施策体系	32
第4章 計画の推進	34

II 各論	35
第1 具体的な取組の展開	36
第2 「取組の柱」の構成	36
■ (基本的視点) I 一人ひとりの成長と自立を支援する	37
◇基本施策① 社会的自立に向けた基礎づくり	37
・取組の柱1 社会生活を円滑に営むことができる力の育成	38
・取組の柱2 多様な体験活動の推進	41
・取組の柱3 しなやかな心と健やかな体の育成	45
・取組の柱4 相談体制の充実	49
◇基本施策② 職業的・社会的自立の促進	51
・取組の柱5 職業観や就労意欲の育成	52
・取組の柱6 就労等支援の充実	55
・取組の柱7 社会への参画の促進	58
■ (基本的視点) II 困難な状況等に応じて支援する	61
◇基本施策③ 困難な状況ごとへの支援	61
・取組の柱8 いじめ、不登校、ひきこもり、ニート、高校中退者等への支援	62
・取組の柱9 子どもの貧困への対応	67
・取組の柱10 障害のある子ども・若者への支援	70
・取組の柱11 非行・犯罪に陥った子ども・若者への支援	73
・取組の柱12 特に配慮が必要な子ども・若者への支援	75
◇基本施策④ 子ども・若者の被害防止・保護	79
・取組の柱13 児童虐待への早期発見・早期対応	80
・取組の柱14 被害者支援と福祉を害する犯罪への対応	83
■ (基本的視点) III 社会全体で支援する	85
◇基本施策⑤ 健全育成に繋がる社会環境づくり	85
・取組の柱15 家庭や地域の教育力の向上	86
・取組の柱16 犯罪等の被害に遭いにくい地域づくり	88
◇基本施策⑥ 相談支援の充実と多様な担い手づくり	91
・取組の柱17 子ども・若者支援協議会の推進	92
・取組の柱18 地域社会における健全育成の充実	94
・取組の柱19 成長と自立を支える担い手の養成	96